



JKC

のご案内

一般社団法人 ジャパン ケネル クラブ

◆ジャパンケネルクラブは世界87カ国が加盟する国際畜犬連盟（F C I）に加盟しており、本会が発行する血統証明書は世界中で認められています。

1949年 J K C (旧社団法人全日本警備犬協会) 創立
1950年 第1回本部展＝創立記念展(上野公園)
1952年 ジャパンケネルクラブ(J K C)の名称採用
1972年 公認トリマー制度発足
アジア畜犬連盟(A K U)結成
1979年 国際畜犬連盟(F C I)へ正式加盟
1982年 F C I 東京ワールドショー開催
1986年 個人会員制から団体クラブ会員制へ定款改正
1987年 コンピュータによる血統証明書発行開始
1990年 災害救助犬育成開始
1995年 阪神淡路大震災に対する本会の災害救助活動に
対して、農林水産大臣より感謝状拝受
1996年 愛犬の飼育電話相談室開設
1999年 創立50周年
社団法人ジャパンケネルクラブと改称
台湾大地震に災害救助犬を派遣
2000年 会報創刊500号
2001年 10月第1日曜日～第2日曜日を J K C 愛犬週間と
制定し、愛犬デー行事を開催
2002年 福島県西郷村に災害救助犬訓練施設を建設
2003年 D N A 登録開始
2004年 創立55周年を記念し、全国の政令指定都市等に
ある高齢者福祉施設に介護車輦寄贈
2005年 種牡の D N A 登録義務化
2006年 血統証明書への遺伝性疾患情報記載を開始

2007年	JKCブリーディングアワード創設 第1回ジャパンドッグフェスティバル(JDF)開催 「JKC愛犬飼育管理士」資格制度を発足
2008年	岩手・宮城内陸地震に災害救助犬を派遣
2009年	創立60周年を記念し、大阪でジャパンドッグフェスティバルを開催
2010年	インターネットポータルサイト「JKC犬のひろば」開設
2011年	東日本大震災に災害救助犬を派遣
2013年	一般社団法人ジャパンケネルクラブに移行
2016年	熊本地震に災害救助犬を派遣
2018年	西日本豪雨に災害救助犬を派遣

会報『J K Cガゼット』
(定価150円※会費に購読料が含まれます)
犬の情報が満載された会報誌(年10回発行)。



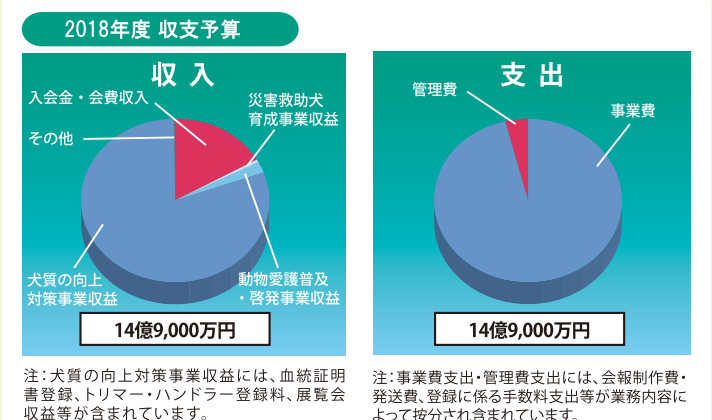
創 立	1949年
傘下クラブ数	約900クラブ(正会員)
クラブ会員数	約80,000名
年間登録数	約300,000頭(2017年)
理 事 長	別所 訓
副 理 事 長	吉田 稔
専 務 理 事	馬場由見
理 事	佐藤重男、上原勝三、花 佐々木伸雄、石黒光尉、 鈴木好美、森崎隆弘、宮 新田邦善、園田真一
監 事	菊池嘉光、相澤知敬

〈目的〉

犬籍登録及び展覧会・競技会等に関する事業を行い、犬質の向上、犬の飼育の拡大・定着及び動物愛護精神の高揚に寄与する。

〈事業〉

- (1) 犬籍登録に関する事業
- (2) 犬に関する展覧会・競技会の開催に関する事業
- (3) 資格の付与及び研修会・講習会の開催等人材の育成に関する事業
- (4) 正しい犬の飼育の指導奨励と犬の啓蒙に関する事業
- (5) 動物愛護精神の高揚に関する事業
- (6) 災害救助犬の育成等犬を活用した社会貢献に関する事業
- (7) 諸外国との犬を通じた国際交流と提携に関する事業
- (8) その他本会の目的を達成するために必要な事業



順位	犬 種	登録頭数	順位	犬 種	登録頭数
1	ブードル ※1	75,149	17	ジャック・ラッセル・テリア	3,653
2	チワワ	49,954	18	ミニチュア・ピンシャー	3,388
3	ダックスフンド ※2	25,156	19	ペキニーズ	3,274
4	ポメラニアン	18,443	20	ビーグル	2,796
5	柴	11,829	21	イタリアン・グレーハウンド	2,637
6	ヨークシャー・テリア	10,898	22	ボーダー・コリー	2,541
7	ミニチュア・シュナウザー	9,893	23	ビション・フリーゼ	2,349
8	シー・ズー	9,489	24	ボストン・テリア	2,284
9	フレンチ・ブルドッグ	8,623	25	シェットランド・シープドッグ	1,874
10	マルチーズ	8,282	26	アメリカン・コッカー・スパニエル	1,806
11	ウェルシュ・コーギー・ペンブローク	5,283	27	バーニーズ・マウンテン・ドッグ	1,338
12	ゴールデン・レトリバー	4,823	28	日本スピッツ	934
13	パグ	4,778	29	ブルドッグ	926
14	パピヨン	4,470	30	シベリアン・ハスキー	768
15	ラブラドル・レトリバー	4,266		(以下略)	
16	キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル	3,992	合計	133犬種	295,910

※1 トイ 74,158、ミニチュア 149、ミディアム 161、スタンダード 681 ※2 カニンヘン 5,754、ミニチュア 19,345、スタンダード 57

国際公認血統証明書の発行

ジャパンケネルクラブでは、純粋犬種の血統を管理し、より質の高い犬を繁殖するための祖先犬の情報を血統証明書という形で提供しています。

血統証明書は同一の犬種の父母犬によって生まれた子犬に対して発行され、子犬の名前・生年月日・性別・毛色・登録番号などのほか、両親・祖先についての情報も記載され、その犬がどのような血統のもとに作出されたかを表わしています。また、2003年からはより正確な血統登録のため父犬のDNA登録を導入しております。

また、愛犬の個体識別や所有者名明示、災害時等の迷子対策等のための、マイクロチップ登録も実施しています。

本会発行の血統証明書は世界各国のケネルクラブとの犬籍を相互承認することにより、世界に通じる「国際公認血統証明書」となっております。



※3代祖血統証明書見本

ドッグショー



ドッグショーは、人間が作り上げた文化遺産ともいえる純粋犬種を保護し、より質の高い犬の繁殖奨励のために開催されるものです。

年間約250回開催されるドッグショーのうち、毎年4月に開催する「FCIジャパンインターナショナルドッグショー」は、130犬種2,500頭の純粋犬種が一堂に会する、まさにアジア最大の犬の見本市です。

ドッグショーの他にトリマーの技術を競う「トリミング競技大会」、ドッグショーで犬をコントロールする技術を競う「ハンドリングコンペティション」、青少年による「ジュニアハンドリングコンペティション」、アジリティーJKCカップ、災害救助犬の実演なども同時開催され、毎年5万名を超える愛犬家が集まります。



ハンドリングコンペティション



ジュニアハンドリングコンペティション



ドッグショーの審査

photo by Yoko Nakamura



ドッグショーの審査の様子
左写真・ラウンド
上写真・触審



愛犬健康しつけ相談コーナー



アジリティーJKCカップ



災害救助犬実演



トリミング相談コーナー



IGP^(※)実演



各種コンテスト優秀作品の展示ブース



ショッピングモール

※IGPとはドイツ語のInternationale Gebrauchshunde Prüfungsordnungの頭文字をとったFCI国際作業犬試験規程を表す言葉です。

トリミング競技大会



ジャパンケネルクラブでは、トリマー（犬の美容師）の公認資格を1973（昭和48）年から発行しております。

現在、全国の41スクールを本会公認トリマー養成機関としてトリマーの育成を行っています。

また、年に一度、全国予選入賞者を対象とした本会主催のトリミング競技大会を開催して、技術の向上を図っています。

訓練競技大会

犬が社会の一員として幸せに暮らしていくためには、飼い主と犬がマナーを守る必要があります。そのためにきちんとした「しつけ・訓練」が欠かせないことはいまでもありません。

ジャパンケネルクラブでは、日頃のしつけ・訓練の完成度の発表の場として家庭犬訓練競技会を全国各地で年間約30回開催しており、春と秋の本部大会には、それぞれ約700頭もの犬が集まります。



臭気選別 5つの物品の中から決められた臭いのついた物品を探し出す。



団体訓練競技

アジリティー競技大会

アジリティー競技は、犬と人が一体となってさまざまな障害を一定の時間内にクリアするスピード感あふれるドッグスポーツの代表です。犬も指導手もギャラリーも大興奮。家族揃って、仲間同士で、犬好きが揃って楽しむことの出来る、今最もホットなスポーツです。

年間を通して全国で競技会が開催され、年に一度の本部大会には700頭を超える出場があります。

また、アジリティーは世界大会が開催されるほどの人気スポーツで、2005年以降は本会からも優秀な選手を派遣し、2010年には表彰台に日の丸が上りました。



フライボール競技大会

フライボール競技は、犬が4つのハードルを飛び越えて、その先にあるボックスのペダルを押し、飛び出すボールをくわえて、再びハードルを飛び越えてスタートラインに戻るタイムを競う楽しい競技です。競技会は全国各地で開催する訓練競技会に併催して行われ、たくさんの犬がチャレンジしています。



災害救助犬の育成

地震などの災害時に、被災者の捜索活動を行うのが災害救助犬です。ジャパンケネルクラブでは、地震多発国である我が国の現状から、1990年より災害救助犬の育成に取り組んでいます。

本会認定犬は阪神淡路大震災や台湾大震災、岩手・宮城内陸地震へも出動し、2011年の東日本大震災、さらに、2016年熊本地震においても被災者の捜索にあたりました。

現在、本会では出動可能な154頭（2018年4月現在）の公認災害救助犬を有し、東京消防庁や京都府、岐阜県など全国の1消防庁16自治体等と出動協定を締結し、有事に備えています。

また年に一度、本会災害救助犬訓練施設において、公認災害救助犬の日頃の訓練と実力を確認する場として、災害救助犬競技大会を開催しています。



熊本地震で被災者捜索をする本会災害救助犬



防災訓練への参加

多くの方に災害救助犬の有用性を知っていただくため、地域の防災訓練への参加を積極的に行っています。

東京都町田市総合防災訓練の様子

社会福祉への貢献・動物愛護精神の普及

犬を通しての社会福祉への貢献と動物愛護精神の普及のため、各種コンテストの実施や、地域に密着したさまざまな活動を行っております。



アニマルセラピー

動物と触れ合うことで、脈拍や血圧が安定したり、お年寄りに笑顔が戻ったり、その効果が注目されているアニマルセラピー。本会の愛犬クラブでも愛犬とともにホスピスや高齢者福祉施設を積極的に訪問しています。

各種コンクール

愛犬とのふれあいの俳句

季節の移ろいと、愛犬へのさまざまな感慨を織り交ぜた作品が、年間約1,000句も寄せられています。



夏休み犬の絵コンクール

毎年、9月に開催する犬の絵コンクールは全国各地の小学校・絵画教室の子供たちから約10,000点の作品が寄せられます。



愛犬とのふれあい写真コンテスト

毎年、7月に開催する写真コンテストには、全国各地から約300点もの心温まる作品が寄せられます。

JKC サイト紹介

本会で運営する2サイトを
を紹介いたします。

ジャパンケネルクラブ 公式サイト

<https://www.jkc.or.jp>

イベントや本会に関するさまざまな情報を配信しています。



JKC犬のひろば

<https://www.jkc-inu.com>

クラブ会員証を提示するだけで、サービス店に登録された全国のショップやドッグラン、犬と泊まれる宿などでJKC会員だけのサービスを受けることができます。

会員特典
いっぱい!!



JKC犬のひろば

愛犬検定

「JKC犬のひろば」のサイト内に「JKC犬のひろば 愛犬検定」を設置しています。犬に関する「へえー」や「なるほどー」をクイズにしました。PCからでも、モバイルやからでも楽しむことができますので、ぜひアクセスしてください。



一般社団法人ジャパンケネルクラブ

〒101-8552 東京都千代田区神田須田町1-5

TEL03-3251-1651~6 FAX03-3251-1659

(2018年10月現在)